

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第 3 1 号 —

= 目 次 =

- 森林整備体験会&聖滝散策 2
- 日野川写真塾&境漁港水揚げ見学 3
- 日野川一斉清掃&海岸植物等学習会 4
- 日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会 5
- 日吉津海岸クリーン作戦、森と水に親しむ活動を支援 6
- 幹事の部屋 7
- 日野川フォトコンテスト作品展、今後の活動予定、会員募集 8

表紙写真：日野川(日野町)

活動
レポート

森林整備体験会& 聖滝散策

H29.5.28 場所:日南町宝谷・菅沢



～森林の大切さを知り、守っていきましょう!～

今年も、日南町宝谷のスギ・ヒノキ林(日南町有林)において、恒例となった林内作業を体験しました。始めに森林の果たす役割の説明を聞き重要性を再認識したあと、当会の幹事であり熟練した伐採技術をお持ちの榎木建明さんによる間伐作業を見学しました。

参加者の皆さんは、伐採されたヒノキを邪魔にならない場所へ移動させやすくするためノコギリを使い枝を落とすとともに、榎木さんの指導を受けながらチェーンソーを使っての玉切り(丸太を短くする作業)作業を体験しました。



▲ノコギリを使い、枝を切っていく参加者



▲玉切り作業の様子

昼食は、有形登録文化財の「古民家かつみや」でハンターでもある榎木さんのご好意で提供いただいた、イノシシ肉入りのカレーをいただくとともに、古民家を見学しました。

午後からは、古民家のオーナーである宮本克範さんの案内により近くの秋原川沿いの神話に彩られる聖滝を散策し、春の豊かな自然を満喫しました。



▲イノシシ肉入りカレーを食べる参加者



▲聖滝散策の様子

- 森林の間伐整備の大変さと大切さが良く分かりました。
- 古民家の良さに改めて感激しました。
- 聖滝は涼しく、心が洗われた気持ちでした。
- イノシシカレーすごくおいしかったです。

参加者の
声

活動
レポート

日野川写真塾& 境漁港水揚げ見学

H29.6.24 場所:境港市、日野川河口付近



日野川の素晴らしさを伝えるメッセンジャーになろう!

日野川の魅力を広く発信するためのメッセンジャーを育成する「日野川写真塾」を開催しました。また、併せて日本有数の水揚げ量を誇る境漁港(さかいぎょこう)で、山と海のつながりについて学ぶ「境漁港水揚げ見学会」を開催しました。

午前には、境港水産振興協会のおさかなガイドによる漁港・水揚げに関する説明を受け、この日水揚げされたマグロが並べられている水産物卸売市場の見学を行いました。約60kg以上(中には100kg以上)もあるマグロ達が卸売市場に所狭しと並べられている様子は圧巻でした。



▲おさかなガイドによる説明を聞く参加者



▲この日水揚げされたマグロの様子

午後からは、日野川河口付近において、写真塾を開催しました。鳥取県写真家連盟運営委員の石丸なつ子さんを講師に迎え、自分の思いを伝えるための構図や陰影のつけ方など、写真撮影の技術を教えてもらいました。参加者の皆さんは石丸先生から学んだ写真撮影技術を試すかのように、色々な場所で写真撮影に臨んでいました。

今後も、写真を通じて日野川のみさや魅力にあらためて気づき、広く伝えていく方が増えるような活動を行っていきます。



▲写真撮影に熱中する参加者



▲講師の石丸さんの話を熱心に聞く

- マグロがずらりと並べられた風景に感激しました。
- 写真撮りの素人でも楽しめました。

参加者の
声

活動
レポート

日野川一斉清掃&海岸植物等学習会

H29.7.2 場所:境港市、日野川河口



海岸をきれいに、日野川河口や海岸の豊かな自然を知ろう!

国土交通省が「河川愛護月間」と定める7月に合わせ、流域の住民やボランティア団体などが毎年7月の第1日曜日に清掃活動を行う「日野川一斉清掃」に参加しました。参加者は美しい景観や環境を守るため、ふるさとの日野川の恵みに大きな感謝を込めて、清掃ボランティア活動をしました。

清掃の後は、当会の幹事でもあり、鳥取県西部希少野生植物保全調査研究会の藤原文子さんを講師に迎え、日野川河口の日吉津海岸に自生する植物について学ぶ「海岸植物等学習会」を開催しました。河口近くの海岸には、ウンランやハマゴウ、ハマボウフウ等、多種多様な植物約12種類を実際に見つけ解説してもらいました。参加者は熱心に質問をしたり、植物の感触や香りを楽しみつつ、熱心に観察しました。



▲親子で協力して清掃活動をしていました



▲講師の藤原さん(写真右)が植物について解説します



▲初めて見る植物の感触を確かめる参加者



▲童心に帰り、楽しむ参加者

- とっても楽しかったです。身近なところにも知らないことだらけで、海岸の歩き方が変わりました。
- はじめて知ったことがたくさんあってびっくりしました。また行ってみたいです。
- 外来種の花草などが多いのにおどろきました。

参加者の
声

活動
レポート

日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会

H29.7.14 場所:江府町日野川支流



日野高生がオオサンショウウオの生態調査に活躍!



▲この日調査したオオサンショウウオ

日野高生が江府町にある日野川の支流で、オオサンショウウオの生態調査を行いました。

今年で4年目となるこの取り組みですが、日本ハンザキ研究所の岡田純理事長の指導の下、日野高校アグリライフ系列の1年生12人が調査に参加しました。

今回は、発見された4個体中3個体が新規捕獲(マイクロチップを埋め込まれていない)の個体でした。生徒たちは岡田理事長に説明を受けながら、捕獲したオオサンショウウオの大きさの計測や、マイクロチップの埋め込みを手伝い、どんなものを食べているか調査する様子を観察しました。

また、オオサンショウウオのいる川に生息する生き物調べも行いました。タモ網を使ったり川底の石をひっくり返したりして捕獲した生き物の名前を調べましたが、サワガニやカワゲラの幼虫などのきれいな川に住む生き物が多く見つかり、生徒たちは川のきれいさを実感していました。

初めてオオサンショウウオを見る高校生がほとんどで、名前の由来を講師から聞いたり、外敵に襲われた時に出す匂いを体験したりしながら、興味深く計測作業の補助をしていました。(※オオサンショウウオは特別天然記念物ですので、許可がないと捕獲・移動できません。)

オオサンショウウオが住む河川には他にどのような水生生物がいるのかも併せて調べました。普段、川に入る機会が少ない生徒達は、最初はおっかなびっくり調査していましたが、すぐにタモの使い方も様になってきました。



▲オオサンショウウオを計測器に移す生徒



▲川の生き物調べの様子

※江府町の小学生と8月7日に行う予定だったオオサンショウウオ観察と自然体験の学習会は、鳥取県をはじめとする各地に大雨をもたらした台風5号の接近のため中止となりました。来年は小学生にも是非オオサンショウウオや川の環境のことを良く知ってもらいたいです。

- オオサンショウウオに触れられる機会は本当に少ないので、とても勉強になりました。
- すべてがすごい。オオサンショウウオがすごかった。
- オオサンショウウオがきれいな川にいることがわかった。

参加者の
声

活動
レポート

日吉津海岸クリーン作戦

H29.8.27 場所:日吉津村海岸付近



▲海岸を移動しながら清掃活動をしました



▲清掃活動のために集まった参加者の皆さん

海岸をきれいに、日野川河口の景観を守ろう!

当会も参加している「海岸クリーン作戦実行委員会」の主催する日吉津村海岸の一斉清掃に多数の会員が参加されました。少々肌寒いなかでの作業となりましたが、約1時間で集められたゴミは、軽トラック5台分もの量となりました。

ゴミの内訳は、ペットボトル、タバコの吸い殻、花火の残骸などであり、きれいな海岸を後生に引き継いでいくためには、既に取り組みられているところですが、ゴミを捨てないよう利用者のマナーアップの取り組みが重要と痛感させられるところです。

缶バッジラリーの実施

昨年度、参加者の皆さんから好評だった缶バッジラリーを、今年度もイベントごとに7種類のオリジナル缶バッジを作成し、参加記念品として配布しました。



左上から

- 森 (5月/森林整備体験会&聖滝散策)
- 写真を撮る女性 (6月/日野川写真塾&境漁港水揚げ見学)
- ハマボウフウ (7月/日野川一斉清掃&海岸植物等学習会)
- オオサンショウウオ (7月/自然環境と希少生物を守る体験学習会)
- 水滴をはじく木の葉 (9月/日野川源流探訪)
- ラフティングの様子 (9月/日野川ラフティング体験&川の生き物観察会)
- セイヨウタンポポ (10月/外来植物除去作業&わくわく自然体験)

平成29年度 森と水に親しむ活動を支援

日野川の源流と流域を守る会では、日野川流域の森、水辺の自然環境や歴史文化等について、将来を担う子どもたちや流域住民の方に、体験活動を通して理解を深めていただく活動を支援しています。本年度の取組を紹介します。日野川流域の森や水に親しむ活動を活発にしましょう。

菜の花プロジェクト「奥大山菜の花の会・江府中学校菜の花プロジェクト実行委員会主催」

町内の有志でつくる「奥大山菜の花の会」(会長 竹内敏朗)と江府中学校の生徒会で作る「菜の花プロジェクト実行委員会」が連携し、河川敷を花畑にする「菜の花プロジェクト」が平成29年6月26日(月)に開催されました。この日は、江府中学校の全校生徒約70人と地域住民が同校に隣接する日野川の河川敷に、生徒たちが5月下旬に種をまき20センチ程度に育ったヒマワリの苗1,000本と同会が育てた苗500本を幅5メートル、長さ30メートルの花壇に30センチ間隔で丁寧に植え付けました。

今後もヒマワリだけでなく、コスモスや菜の花など、季節ごとの花を日野川の河川敷に植えていく予定で、奥大山菜の花の会会長は「学校前の花を見て、優しい心も育んで欲しい」と語り、菜の花プロジェクトの委員長は「毎日、水を与えて育てきた苗なので、美しい花のじゅうたんを完成させたい。」と意気込みを語っていました。



▲苗の植え付け前の顔合わせ



▲植えられたひまわりの苗の様子



▲苗を1つずつ丁寧に植える生徒



▲協力して植えている様子

幹事の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事を紹介します。



幹事 藤原 文子

幹事から自然保護監視員になりました

9月1日より、自然保護監視員として着任いたしました。今までは幹事として、また、自然解説者として、日野川の源流と流域を守る会に関わってきました。これからは事務局スタッフとして、会の発展のため微力ながら尽力してまいります。会員の皆様には、イベントへの参加等、どうぞよろしくお願いいたします。

外来種除去作業等についても、大変お世話になり、ありがとうございます。そもそも何のために外来種を駆除するのでしょうか?野外に放たれたり、逃げ出した特定外来生物は、放置しておくことで分布を拡大しながら、在来種(その土地に元からいた生物)の生息・生育を脅したり、農林水産業に被害を及ぼすなど、様々な被害を及ぼすおそれがあります。

現在、日野川流域及び周辺には、オオキンケイギク、オオハングウソウ、オオカワジシャ、アレチウリの4種が繁茂しています。特にアレチウリについては、河川敷いっぱい到大繁茂している場所があります。アレチウリには天敵がない。長いものはツルが10m以上に成長し、高い樹木にも覆い被さっているほどです。1株あたり400個以上の種子をつけ、発芽率は7割以上といわれています。多いものでは、1株あたり25,000個もの種子をつけた事例も確認されています。1年生草本ですが、種子は2~3年休眠し、シードバンクを形成し、5~10月頃に、年に数回の発芽が続きます。駆除について検討中ですが、会員の皆様に応援をお願いすることもありますので、その時はご協力よろしくお願いいたします。

自然保護監視員の活動とともに、植物を中心に日野郡の自然情報発信をしていきます。山野に出かけると、食材になる野草や木の実がたくさん見つかります。これを利用しないともったいない。これらを活用することも考えていく予定です。昔は、こんなものも食べていたなあとか、こんな草遊びをしたなあとか、そういう話題も「しぜんの宝箱」の中で紹介していきます。たくさんの自然の恵みに囲まれた地域で、宝物がたくさんあり、何から紹介していこうかと、今からわくわくしています。



▲アレチウリ



▲アレチウリが大繁茂している様子



▲オオカワジシャ



▲オオキンケイギク

※<http://www.pref.tottori.lg.jp/145929.htm>

日野川フォトコンテスト作品展

日野川の清流、流域の自然の美しさ、流域に息づく生活文化や伝統。

私たちの誇りである日野川の素晴らしさを伝えるため、日野川の源流や流域の風景、人々の生活、歴史文化などをテーマにこれまで行った「日野川写真コンテスト」の入賞作品の巡回展示を行いました。



【日野川フォトコンテスト作品展 展示作品例】



「清流」 真砂 昇平



「雪景色」 米積 孝賢



「水鏡」 りん☆たろう



「朝の王子」 てんぎゅ

展示スケジュール

6月 岸本公民館(伯耆町)
7月 ヴィレステ日吉津(日吉津村)
8月 防災情報センター(江府町)

案内 平成29年度これからのイベント予定・行事 [H29.10.6時点]

時期	イベント名	内容	開催場所
11/11(土)	奥大山古道ウォーク	専門家の自然・歴史解説を受けながら、大山古道を散策し、荒神神楽を鑑賞します。募集人数：100名	江府町鏡ヶ成
2/16(金) 14:30~17:00	日野川の源流と流域を守る会総会	総会を開催しますので、多数の御出席をお願いします。 ※平成29年の会費の現金納入受付も行います。	鳥取県西部総合事務所2階講堂

- イベント開催日、内容は、変更される場合があります。
- イベントの詳細内容や参加申込み方法は、募集の際(概ね1ヶ月前)に案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えています。また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切にして、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会